

料金別納郵便

公平・公正な
社会を!

郵便はがき



ご相談はお気軽に

神戸市議員(須磨区)

大井としひろ

■メールアドレス ooi@kobe-001.com
■ホームページ <http://kobe-001.com>

〒654-0132 神戸市須磨区多井畑南町22-15
携 帯 080-5339-3001



安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球!

選挙

国民民主党・友愛神戸市議員団NEWS

VOL. 87
2021.新年号

編集・発行 国民民主党・友愛神戸市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL (078) 322-5772 FAX (078) 322-5773

昨年から全世界で猛威を振っています新型コロナウイルス感染症で神戸市も翻弄されています。

12月8日の神戸市会本会議場にて会派を代表して、渾身の一般質問「新型コロナウイルス感染症対策について」、久元市長以下執行部に質疑を行いました。以下質疑要旨です。

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 大井としひろ議員 (詳細は、大井としひろ公式ホームページをご覧ください。)

最初に、亡くなられた方々に心より哀悼の誠捧げますと共に、療養中の皆様の一日も早いご回復をお祈りいたします。そして、最前線で働く医療従事者の皆様、関係者の皆様をはじめ、暮らしを支えて下さっているすべての皆様に心より感謝申し上げます。これから年末年始にかけてのコロナ対策は? 病室は最大確保できても医療スタッフは確保できるのか? 医療崩壊寸前の危機的状況にあるのではないかと、心配しています。御見解は?



A 久元神戸市長

感染拡大地域への不要不急の外出自粛など、感染リスクを下げるための取組の徹底につきまして広報を行っているところです。今後、年末年始に向かう季節、あらゆる広報手段を活用しながら呼びかけを行っていきたくと考えています。

A 恩田副市長

今後さらに感染者が増加した場合、病床の運用が厳しい状況が出てくる可能性もありますので、感染者の病状を見極めた上で各医療機関との連携、宿泊療養施設への転院など、さらなる活用により医療提供体制の確保を図っていきたくと考えております。

意見・要望 大井としひろ議員



病床数は増やせても果たして医療スタッフが配置できるのか。救命救急センターのスタッフを登用しなければならなくなるのではないかと。これから寒くなる12月から1月にかけて、脳卒中、心筋梗塞等の患者が増え、このほか交通事故等で重症・重体救急患者は年末年始にかけて増大するであろうことは想像に難くないわけですが、このようなコロナ禍でも1年365日、24時間、断らない救急医療体制が維持できるのか、この辺のところを大変心配をしております。医療現場の切迫感が議会では伝わってこない。医療崩壊が始まっているのではないかと心配事が増えるばかりです。そして、新型コロナ感染症による差別防止を推し進めていただき、正しい知識を持ち、誹謗中傷は止めるよう、「ストップ! コロナ差別」の推進をよろしく願っています。

久元市長におかれましては、このような心配事の払拭に全力を傾けていただき、神戸市民、そして医療従事者の皆様をお支えいただけますようお願いを申し上げまして終わります。